

# 赤野井自治会だより

令和4年(2022年)4月1日 発行  
世帯数355戸 人口972人(R4.2/28現在)  
発行責任者 自治会長 赤井 優

赤野井自治会長 赤井 優

陽春の候 皆様方におかれましては、ますますご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平素は自治会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年度に引き続き今年度も自治会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

昨年度のごあいさつでは、高齢化が進む赤野井町を、災害に対し、「ご近所力」を高め「見守り活動」に力を入れ、老若男女が互いに支え合い助け合い『安全・安心なまち』にしていきたいと書きましたが、本年度もこのことについてしっかり取り組みたいと思います。

また、赤野井町ののどかな自然環境、大庄屋諏訪家屋敷、東・西別院、小津若宮神社等の歴史資源、「長刀祭り」などの伝統行事等の地域資源を活かし、人が『つながる』まちづくりにも力を入れていきたいと思ひます。

そして、地区計画も徐々に進み、他の地域から転入して来られた方々にも住んでよかったと思えるまちづくりに努めてまいりたいと思ひます。皆様方の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

## 令和4年度 自治会役員 (今年度もよろしくお願いいたします)

役職名	氏名	町名	町内会長	協議員
自治会長	赤井 優	馬場	新舞一夫	谷口文雄、赤井浩
副自治会長	鈴木 繁幸	川端	鈴木繁幸(兼)	三品秋義、阿加井和平、三品芳之
副自治会長	美濃部 力	浜	奥野 登	中西邦仁、阿加井克之
副自治会長 (会計)	高岡 秀和	西ノ辻	堀井久嘉	東森 浩、堀井英幸

※ 紙面の関係でまちづくり推進員や民生委員等は次号で掲載します。

## 小津神社 御例祭について

5月5日の小津神社御例祭について、2月20日の小津神社「氏子協議会」で協議されましたのでお知らせします。依然としてコロナ禍が終息しない状況ではありますが、今年は、コロナ感染予防に配慮しながら挙行する予定です。

◆今年の神祭当番は、大林、欲賀、森川原です。(いずれも子供神輿1社が出御し、長刀、踊りの渡りはありません。)

◆玉津学区で大人神輿3社、子供神輿2社が出御します。

(祭を実施する場合でも、赤野井馬場通りの役棧敷、棧敷は設置しません)

<祭の流れです。> 時間は目安です。

○ 午後2時 各神輿を台車に乗せ渡御を実施(往復) 本殿祭終了後

○ 午後2時40分 小津若宮神社鳥居前到着

神輿は手舁により小津若宮神社の拜殿に据える

○ 午後3時 御旅所祭(若宮神社)

○ 午後3時20分 還御

○ 午後4時 小津神社到着 神輿を小津神社の神輿倉庫に安置後、解散

◇神輿奉仕については、各自治会の協議員、子ども会等を中心に行います。(少人数)

※新型コロナウイルス感染の状況により神輿渡御を中止する場合があります。

※例祭実施の有無についての最終決定は4月9日の「氏子協議員会」にて行われます。

※例祭の有無については、チラシ等で改めて案内します。

## ごみ集積所拡張工事について

赤野井町では、令和3年10月に市が実施した「ごみ集積所現況調査」により、容量が5割以上の集積所が5か所ありました。残り2か所の拡張工事を実施していましたが、この程工事が完了しましたので、ごみの分別等のマナーを守りご使用ください。

工事完了場所：自治会館前（川端）、御旅所横（馬場）



自治会館前



御旅所横

## 国指定重要無形民俗文化財 伊勢大神楽講社 山本勘太夫社中の総舞 そうまい

3月27日（日）に大庄屋諏訪家屋敷の交流広場において、赤野井自治会主催で国指定重要民俗文化財伊勢大神楽講社山本勘太夫社中の「総舞」が行われました。心配された天候も開始時間帯には快晴となり、約200名の方が観覧に来られました。社中の方の演じる獅子舞や曲芸に拍手が鳴りやみませんでした。今後も赤野井自治会と大庄屋諏訪家屋敷が連携し、今回のように人々が集う（つながる）場が増えればと思います。



獅子舞に頭を噛んでもらうと、厄除けや無病息災、子どもの場合は学力向上などのご利益があると言われています。

